

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第4部門第1区分

【発行日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【公開番号】特開2014-181482(P2014-181482A)

【公開日】平成26年9月29日(2014.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2014-053

【出願番号】特願2013-56260(P2013-56260)

【国際特許分類】

*E 03 C 1/05 (2006.01)*

【F I】

*E 03 C 1/05*

【手続補正書】

【提出日】平成27年10月15日(2015.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項7】

前記ボウル部は、前記ボウル部から水が溢れることを防止するためのオーバーフロー口が、その上方側の部分に形成されており、前記オーバーフロー口に流入した水を前記排水管に導くためのオーバーフロー管を有するものであって、

前記センサは、放射された電波が、前記オーバーフロー管の内部を透過して前記吐水口に向かうように配置されており、

前記強制止水手段は、

前記センサから、前記オーバーフロー管の内部を水が流れたことを示す前記検知信号が出力された場合に、前記吐水口からの吐水を強制的に停止することを特徴とする、請求項4に記載の自動水栓装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

また本発明に係る自動水栓装置では、前記ボウル部は、前記ボウル部から水が溢れることを防止するためのオーバーフロー口が、その上方側の部分に形成されており、前記オーバーフロー口に流入した水を前記排水管に導くためのオーバーフロー管を有するものであって、前記センサは、放射された電波が、前記オーバーフロー管の内部を透過して前記吐水口に向かうように配置されており、前記強制止水手段は、前記センサから、前記オーバーフロー管の内部を水が流れたことを示す前記検知信号が出力された場合に、前記吐水口からの吐水を強制的に停止することも好ましい。